

JIS

環境試験方法－電気・電子－第 3-5 部： 支援文書及び指針－温度試験槽の性能確認

JIS C 60068-3-5 : 2020

(IEC 60068-3-5 : 2018)

(JSA)

令和 2 年 9 月 23 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電気分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	熊田 亜紀子	東京大学
(委員)	岩本 光正	東京工業大学
	大隅 慶明	一般社団法人日本電機工業会
	窪田 久美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	島村 正彦	一般社団法人日本電気計測器工業会
	下川 英男	一般社団法人電気設備学会
	菅 弘史郎	電気事業連合会
	藤倉 秀美	一般財団法人電気安全環境研究所
	藤原 昇	一般社団法人電気学会
	南 裕二	東芝エネルギーシステムズ株式会社
	若月 壽子	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.3.25 改正：令和 2.9.23

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課

(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 2.9.23

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

審 議 委 員 会：電気分野産業標準作成委員会 (委員長 熊田 亜紀子)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 温度試験槽の性能測定	4
4.1 試験場所の環境	4
4.2 温度測定システム	4
4.3 温度試験槽の試験用供試品	4
4.4 有効空間内の温度検出器の設置位置	4
4.5 測定方法	5
4.6 標準的温度検査手順	10
5 性能試験報告書に記載する事項	10
参考文献	11
解 説	12

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 60068-3-5:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS C 60068-3 規格群（環境試験方法－電気・電子－第 3 部：支援文書及び指針）は、次に示す部で構成する。

JIS C 60068-3-1 第 3-1 部：低温（耐寒性）試験及び高温（耐熱性）試験の支援文書及び指針

JIS C 60068-3-2 第 3-2 部：温度／減圧複合試験を理解するための必ず（須）情報

JIS C 60068-3-3 機器の耐震試験方法の指針

JIS C 60068-3-4 第 3-4 部：高温高湿試験の指針

JIS C 60068-3-5 第 3-5 部：支援文書及び指針－温度試験槽の性能確認

JIS C 60068-3-6 第 3-6 部：支援文書及び指針－温湿度試験槽の性能確認

JIS C 60068-3-7 第 3-7 部：支援文書及び指針－負荷がある場合の低温試験（試験 A）及び高温試験（試験 B）の試験槽の温度測定のための指針

JIS C 60068-3-8 第 3-8 部：振動試験方法の選択の指針

JIS C 60068-3-13 第 3-13 部：支援文書及び指針－はんだ付け

環境試験方法—電気・電子—第 3-5 部： 支援文書及び指針—温度試験槽の性能確認

Environmental testing—Part 3-5: Supporting documentation and guidance— Confirmation of the performance of temperature chambers

序文

この規格は、2018 年に第 2 版として発行された IEC 60068-3-5 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

JIS C 60068 規格群は、環境試験方法及び試験の厳しさに関する基本的情報を規定している。

“環境条件”又は“環境試験”という表現には、部品又は機器が実際にさらされる可能性がある自然界及び人工的環境が含まれ、使用、輸送及び貯蔵条件の下での性能の評価ができるようになっている。

“環境条件”又は“環境試験”のために用いる温度試験槽については、どんな刊行物にも記載されていない。ただし、温度及び／又は湿度を保持して測定する方法は、試験結果に大きな影響を及ぼす。温度試験槽の物理的特性もまた試験結果に影響を及ぼす可能性がある。

1 適用範囲

この規格は、負荷のない状態の温度試験槽が、JIS C 60068-2 規格群及び他の規格に規定されている耐候性試験の要求事項に適合しているかどうかを確認するための、統一的な再現性のある測定方法について規定する。この規格は、使用者が温度試験槽の性能を定期的に点検する場合を想定している。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60068-3-5:2018, Environmental testing — Part 3-5: Supporting documentation and guidance — Confirmation of the performance of temperature chambers (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 60068-2 (規格群) 環境試験方法—第 2 部：試験

注記 対応国際規格における引用規格：IEC 60068-2 (all parts), Environmental testing — Part 2: Tests